

人権委員会だより

2015.12.14 発行

文化祭 「ひだま里カフェ」 報告

11月5日の文化祭で人権委員会は、障害のある方々の就労事業所「ひだま里」からメンバーの方とスタッフの方をお迎えして、「ひだま里カフェ」を運営しました。今号の人権委員会だよりでは、事前に実施された学習会の様子と文化祭での活動内容を紹介したいと思います。

1. 事前学習会について

講師の西山蓮さんと、「ひだま里」のメンバーさん2名をお招きして、文化祭の事前学習会を行いました。「ひだま里」の施設についての説明を聞き、障害のある方との接し方などについてお話をいただきました。



《 事前学習会の感想 》

- ・ 障害を抱えていても楽しく自分のペースで働くことができる場所があるのは、良いことだと思いました。
- ・ やりがいを見つけ、達成感を得るために毎日頑張っているというお話を聞かせていただき、働くことの大切さを学びました。
- ・ 自分にあった仕事を自分で選択していることや、「つながり」を大切にしていることを聞いて、とてもいい事業所だなと思いました。
- ・ 働くという体験が初めてなので、接客を体験できる良い機会だと思います。文化祭では、「ひだま里」の方と、積極的にコミュニケーションをとるように心掛けたいです。
- ・ 精一杯頑張って、文化祭での「ひだま里カフェ」を成功させたいです。
- ・ 「ひだま里」の一員として、一所懸命活動して、今までで一番楽しい「ひだま里カフェ」が開けるように頑張りたいです。

2. 「NPO 法人 ほっとねっと ひだまり」について

「ひだまり」は、北条家族会のエコーグループから、平成 17 年の秋に「NPO 法人ほっとねっと」が受け継ぎ、地域における精神保健福祉活動を行っています。作業内容は、配食弁当作り、シフォンケーキ作り、水口酒造のタグ作り（内職）などです。毎朝ミーティングを行い、体調に合わせて、その日に参加できる作業を行います。

活動の 1 つに、「ひだまりカフェ」があります。北条の「和 ホスピタル」において、木曜日に喫茶店をオープンしています。

3. 文化祭「ひだまりカフェ」を体験して

文化祭では、精神障害のある方たちと一緒に、「ひだまりカフェ」を開きました。人権委員は、ウェイター&ウェイトレスになり、飲み物とシフォンケーキを販売しました。



《 ひだまりカフェ体験の感想 》

- ・ たくさんの笑顔が教室の中に広がっていて、本当に良かったです。
- ・ 積極的にテキパキと動くことができ、貴重な体験になりました。
- ・ お客様の呼び込みを頑張りました。先生方もたくさん来てくださって嬉しかったです。
- ・ 頼まれた物に間違いが無いように、しっかり確認することができました。
- ・ 「美味しかったからもう 1 個買う！」と言ってくれる人もいて、とても嬉しかったです。
- ・ 今回の経験を、将来の就職活動にも生かしていきたいです。
- ・ 働くという体験は初めてで、慣れないことばかりでしたが、作業をこなしていくうちに楽しくなりました。
- ・ 色々なお客様と接してみて、やりがいを感じました。自然に笑顔になることができる温かい空間でした。